

膠原病・自己免疫疾患・リウマチ疾患の 真の原因解明と根治的療法の確立を目指す

免疫・膠原病内科

膠原病ってなに？

体内の様々な臓器を巡っている**免疫細胞**が自分の組織に対して反応を起こしてしまう**自己免疫疾患**の総称です。

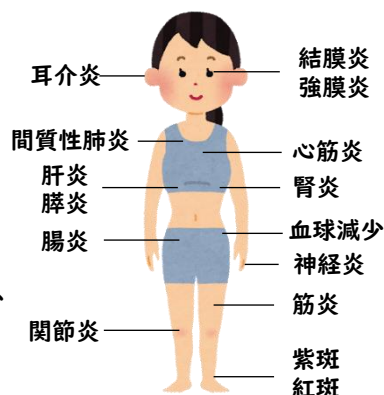
当科で扱う疾患は？

関節リウマチ	成人スティル病
リウマチ性多発筋痛症	ベーチェット病
全身性エリテマトーデス	再発性多発性軟骨炎
多発性筋炎・皮膚筋炎	脊椎関節炎
全身性強皮症	IgG4関連疾患
混合性結合組織病	キャッスルマン病
シェーグレン症候群	自己炎症症候群
血管炎症候群	不明熱 etc

※挙げだしたらきりがありません…

膠原病は全身疾患

免疫細胞は血液を循環するもの、各組織特有のものがあり、全身に分布します。その異常である膠原病は全身の臓器の異常を来します。私たちは**Specialist**でありながら、他の臓器専門科と協同しながら、全身を見る事が出来る**Generalist**となる事を目指しております。



研修目標

■Generalistとしての目標

- ・膠原病は全身疾患なので、診断漏れがないように、十分な**問診**や**身体所見**を習得する必要があります。
- ・診断困難症例が多いため、膠原病に限らずあらゆる疾患の**診断学**に精通する必要があります。
- ・免疫抑制剤を使用しているため、**感染症**に罹患する事が多く、稀な感染症を含めて、その診断と治療について十分学ぶ必要があります。

■Specialistとしての目標

- ・各々の膠原病の**特徴的な徴候**を学びます。
- ・**ステロイド**や**免疫抑制剤**の作用機序、効果、副作用について熟知する必要があります。
- ・**希少疾患**も多く、担当とならなかった場合でも、積極的に診断までの過程、治療経過を学びます。

■その他の目標

- ・内科医として**適切なカルテ記載**、**文献検索**方法などについて学びましょう。
- ・国内外での**学会発表**にも是非挑戦しましょう!!

Q&A

Q. 手技はありますか？

A. 内科研修をしっかりと積んだ先生が多いため、**エコー**、**髄液検査**、**腹水穿刺**などは自身で行う事が多いです。また関節炎のSpecialistとして**関節エコー**や**穿刺**、**注射**などの手技も習得できます。

Q. 貴科のWebレクチャーは誰でも参加できますか？

A. 当科では1-2週間に1回**総合診療系Webレクチャー**を実施しております。**誰でも参加自由**ですので、以下の連絡先にお問い合わせ下さい!!

診療科からのメッセージ

『専門じゃないからわかりません』という言葉は何度聞くことでしょう。『専門じゃないけど、私の知る限りではこうだと思いますよ』と、何故いえないのでしょうか。膠原病という全身疾患を診ていると自然と**何でもわかる医師**になるのです。またそれは**親身な指導者**がまわりに沢山いるからです。どうせなら頼りにされる医者になりたいですね。必要なのは**やる気**だけ。

【問い合わせ先】：075-751-4380
 笹井恒雄大学院生 (+12sasai@kuhp.kyoto-u.ac.jp)
 大村浩一郎 准教授 (ohmurako@kuhp.kyoto-u.ac.jp)